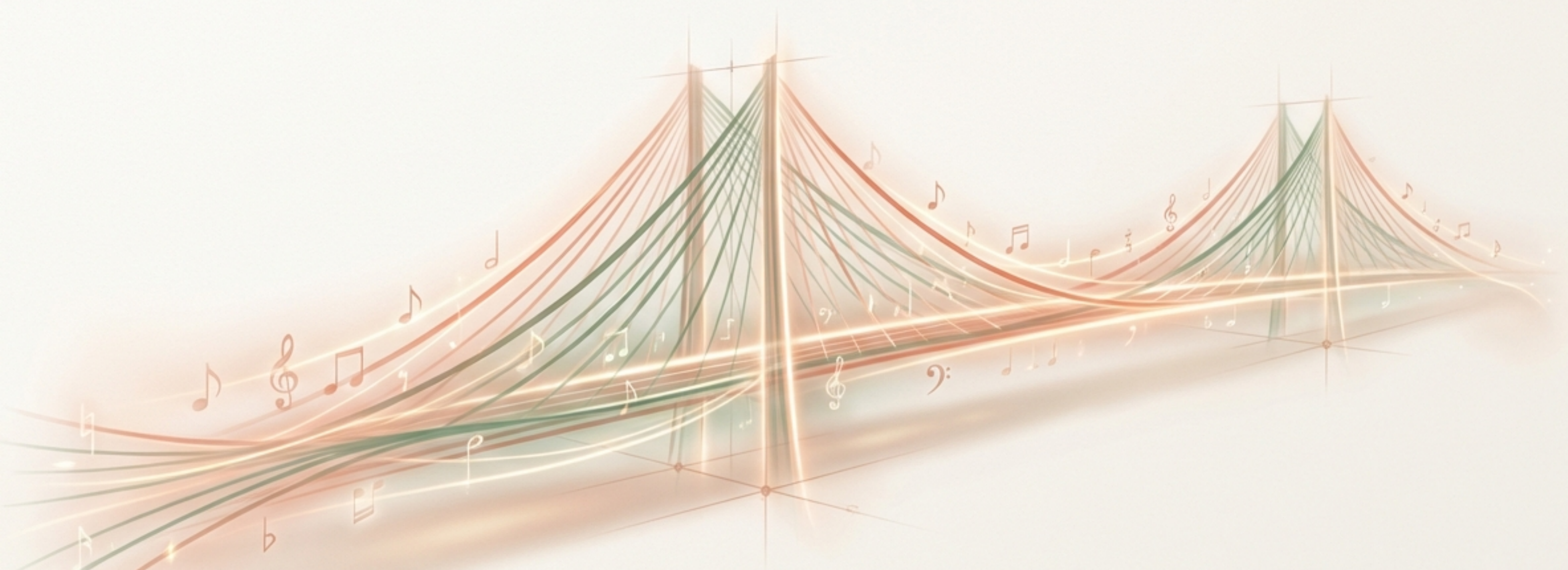
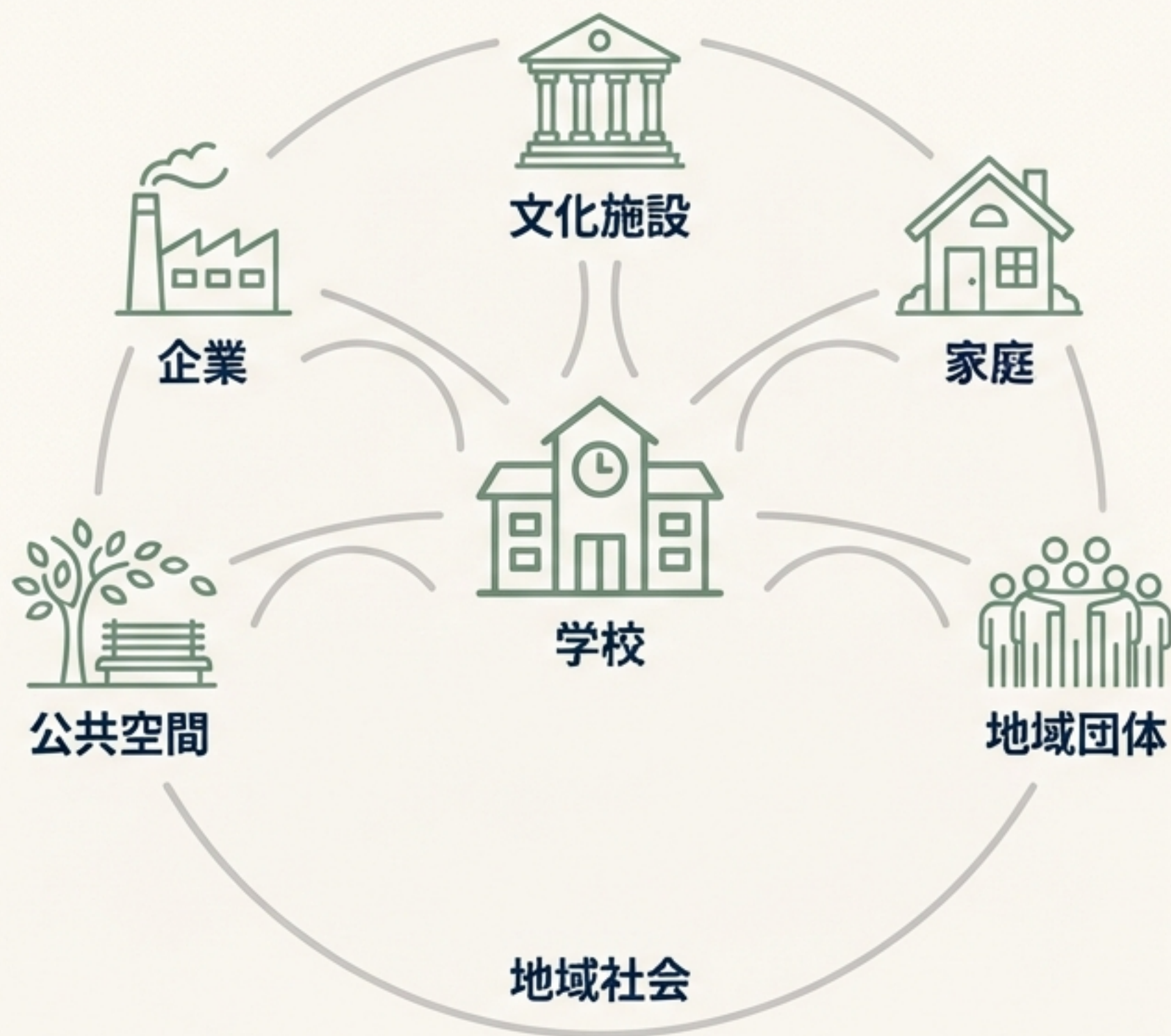




音楽教育は、学校と社会をつなぐ架け橋となる

カリキュラム・マネジメントで実現する、地域に開かれた学び

なぜ今、学校と社会の「つながり」が重要なのか？



変化の激しい時代において、子供たちに「生きる力」を育むためには、学校が社会や地域と連携・協働することが不可欠です。よりよい学校教育が、よりよい社会を創るという基本理念のもと、学校は「社会に開かれた教育課程」の実現を目指しています。

その架け橋を築くための設計図：カリキュラム・マネジメント



カリキュラム・マネジメントとは、「社会に開かれた教育課程」の理念を実現するため、教育課程を中心に様々な取り組みを組織的・計画的に実施し、教育活動の質の向上を図る営みです。

**学校が社会の中の学校となるために、教育課程を介して、
学校が社会や世界との接点を持つことが、より一層重要となります。**

小学校学習指導要領が示す、カリキュラム・マネジメントの本質



“

各学校において、各教科等の教育内容の組織化をはかり、教育課程を編成し、資源の投入や協働をを促すなど諸条件の効果的な活用を通して、学校教育目標の実現をめざす営み。

「小学校学習指導要領 第1章 総則」より

「教育」（学習や生活の指導）と「マネジメント」（組織運営）を結びつけ、学校における教育の質の向上を目指します。

カリキュラム・マネジメントを支える3つの側面



① 教科等横断的な視点での教育内容の編成

教育の目的や目標の実現に必要な教育内容を、教科の枠を超えて組み立てる。



② 教育課程の実施状況の評価と改善

実施状況を評価し、課題を明らかにして改善を図ることで、質の向上サイクルを生み出す。



③ 人的・物的体制の確保と改善

教育課程の実施に必要な人材や資源（人、物、お金、情報、時間など）を確保し、その活用を改善していく。

音楽科は、カリキュラム・ マネジメントの優れた 実践者である

音楽科はこれまでも、地域の演奏家を
ゲストティーチャーとして招聘したり、
他学年や学校外の人々と音楽活動を通じ
て交流を深めたりと、人と人をつなぐ
役割を担ってきました。

「音楽は、人と人をつなぐ力がある。」



計画の第一歩：児童・学校・地域の実態を深く把握する

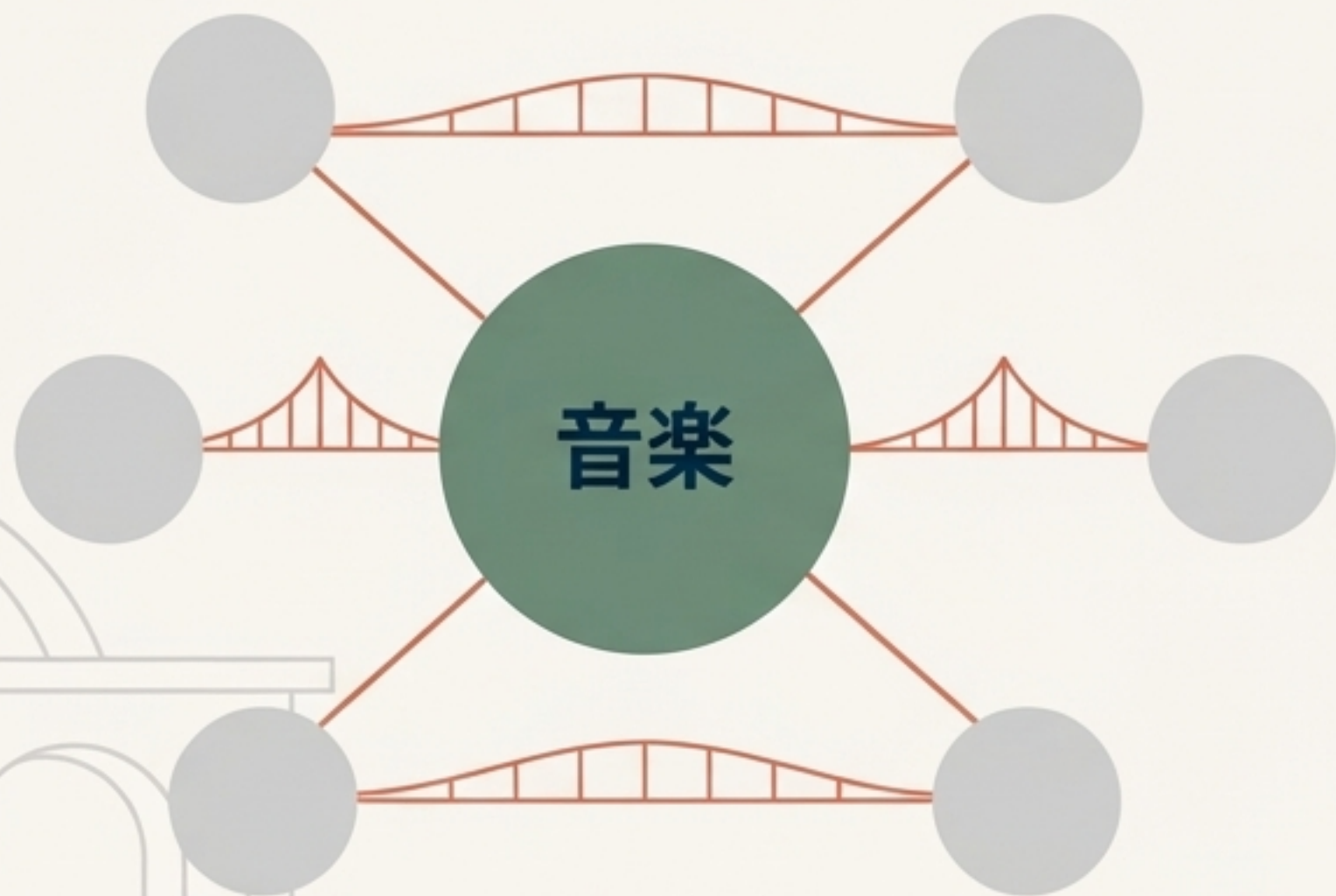
子供たちがどのような音楽経験をしてきたかを把握し、その姿を音楽科の学習を通してどう育てたいか、具体的に思い描くことが大切です。



教科の壁を越える：横断的な授業デザインで学びを豊かにする

学校教育目標を基に、他教科や行事等と横断的に関連させることで、実現したい資質・能力を効果的に高める年間指導計画を作成します。

- **外国語科**：世界の様々な国の音楽文化を学ぶ。
- **道徳科**：楽曲に込められた思いや背景を通じて心を育む。
- **総合的な学習の時間**：地域の伝統芸能など、研究課題と音楽を連携させる。
- **生活科（特に低学年）**：生活を豊かにするために音楽を生かす視点を育む。



教室を地域に開く：外部の人的・物的資源を積極的に活用する

ゲストティーチャーの招聘：地域人材、プロの演奏家、人材バンク等を活用し、本物の音楽文化にふれる体験を創出する。



地域の音楽文化との連携：地域の祭りや伝統芸能の担い手と協力し、子供たちの学びを深める。

地域の特色が見えにくい場合でも、活用できる機会がある

学校や地域に顕著な特徴が挙げられない学校でも、文化庁の「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」などを積極的に活用できます。

これらの事業を年間指導計画や行事予定に位置付け、組織的・計画的にカリキュラム・マネジメントを実現させましょう。



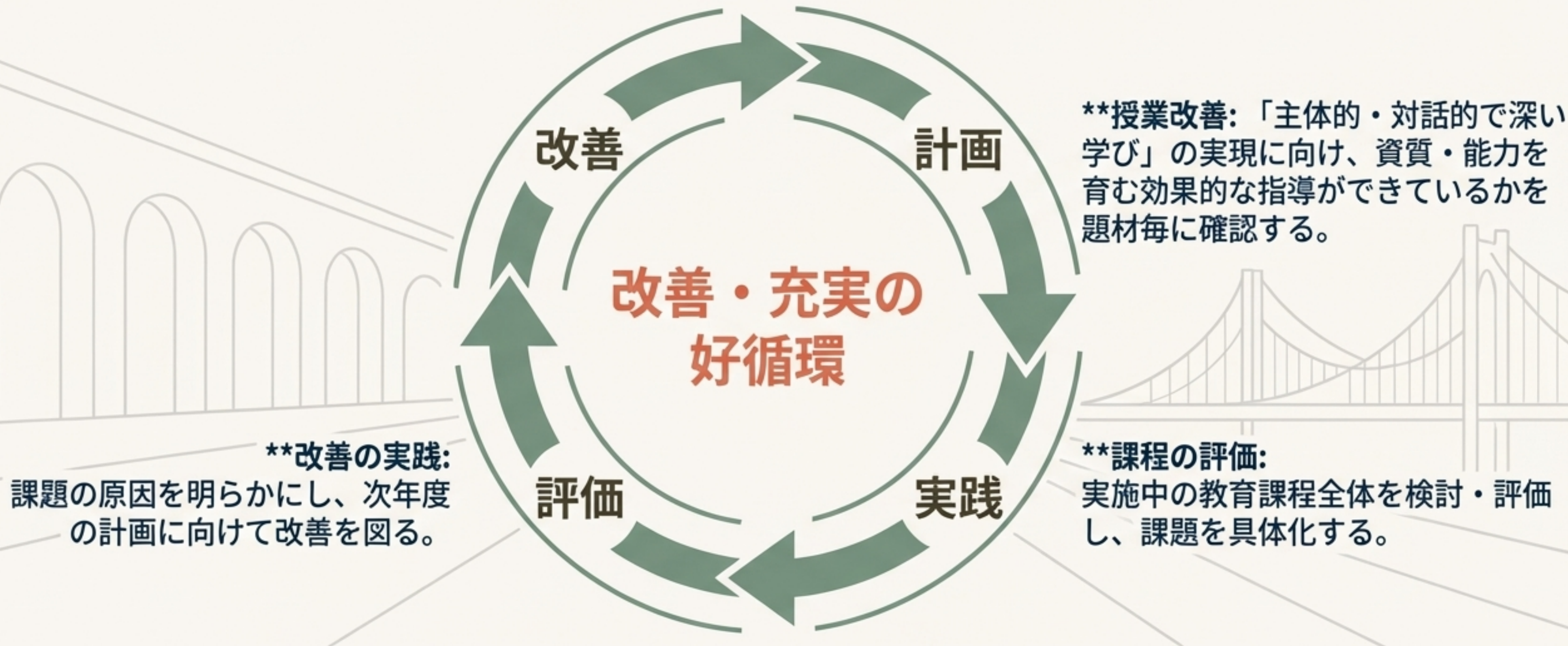
文化庁

学校における文化芸術
鑑賞・体験推進事業



<https://www.kodomoigeijutsu.go.jp/>

成長し続ける教育課程：「評価と改善」の好循環を生み出す



このサイクルを回し続けることで、「改善・充実の好循環」を生み出し、
子供のためのカリキュラム・マネジメントを実現する。



子供たちが創り出す音楽の世界が、地域、社会へと ダイナミックに広がっていく

社会と共有し、地域社会とのかかわりを大切にした題材構成によって、子供たちの音楽の世界が教室を飛び出し、地域や社会全体へと広がるダイナミックな学習を創造します。

音楽科教師の役割：学びのデザイナーとして



知る (Understand)

児童や地域の実態を深く把握する。



つなぐ (Connect)

教科横断的な視点で指導計画をデザインする。



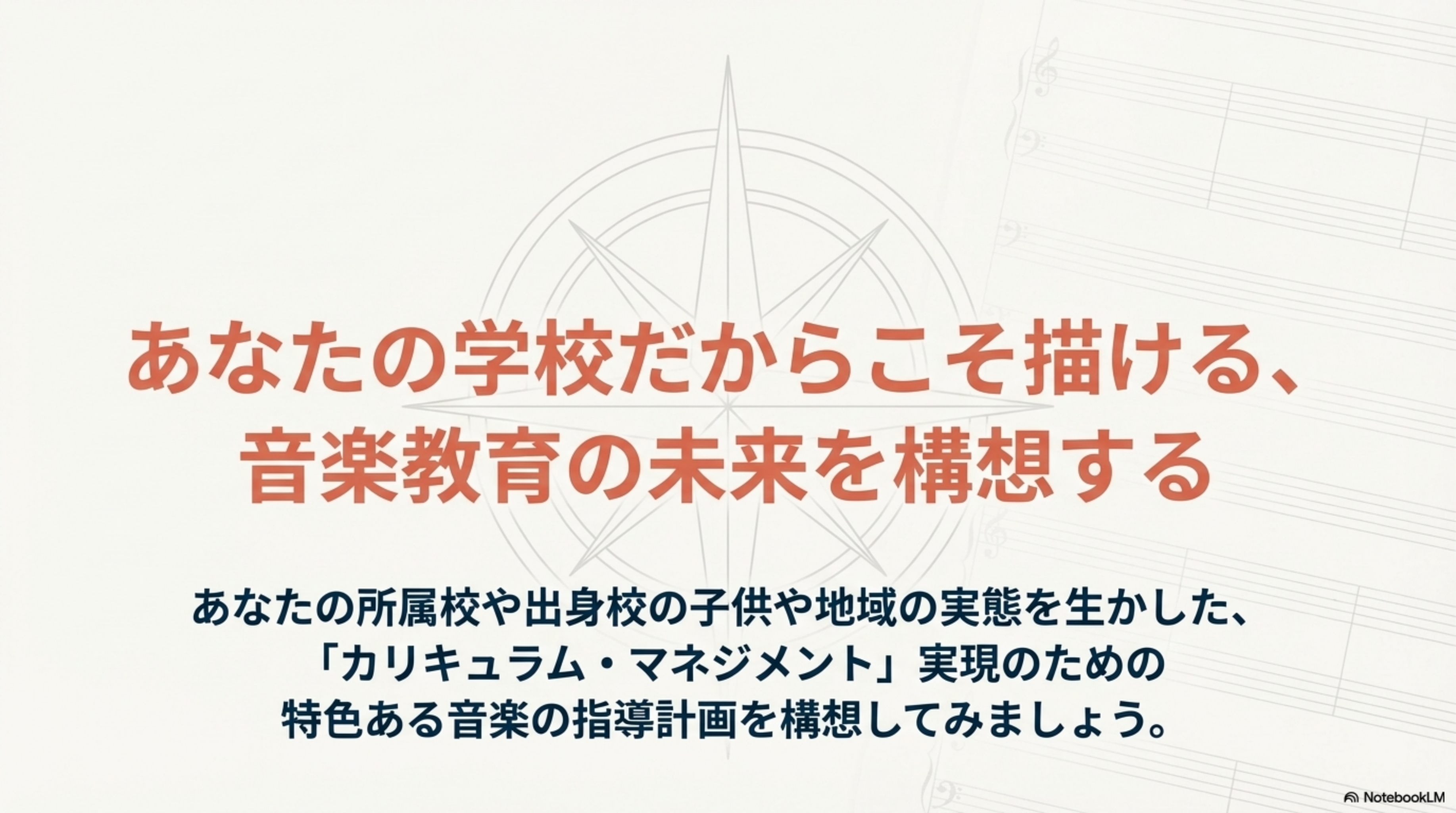
協働する (Collaborate)

地域人材や外部資源を積極的に巻き込む。



高める (Elevate)

評価と改善のサイクルを回し、教育の質を常に向上させる。



あなたの学校だからこそ描ける、 音楽教育の未来を構想する

あなたの所属校や出身校の子供や地域の実態を生かした、
「カリキュラム・マネジメント」実現のための
特色ある音楽の指導計画を構想してみましょう。



音楽教育は、単なる教科ではない。

学校と社会、そして子供たちの未来をつなぐ、
最も創造的な架け橋である。